

生きる仲間

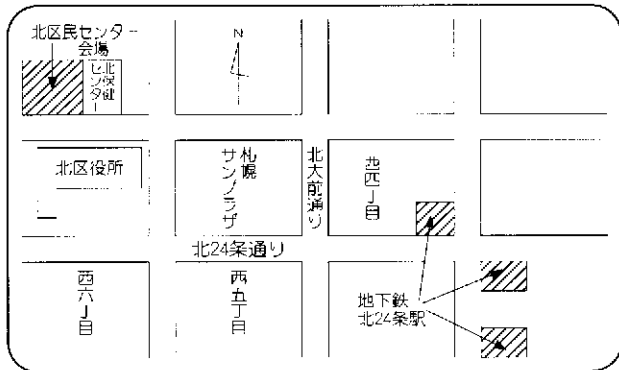
昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H・S・K 通巻373号
◎発行日 平成15年4月10日
(毎月10日発行)
◎発行責任者 鈴木 啓三
◎編集 札幌腎臓病患者友の会
札幌市北区北7条西2丁目21-617
サザンアベニュー北大301
◎発行所 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会

平成15年度

第28回札幌腎友会定期総会議案

日時：平成15年5月11日(日) AM10:00~12:00

場所：札幌市北区北25条西6丁目
札幌市北区民センター3階講義室



■総会会場案内図

総会のご案内について

上記のとおり総会を開催致しますので ぜひご出席して下さい
 なお 当日都合により出席出来ない方は 会則第12条に基づき 各施設幹事の出席をもって委任状提出者とみなし 議事議決の権限を各施設幹事に委任させていただきます
 また 文書発信用紙により意見を述べる事が出来ます
 総会当日は この議案書を必ずご持参下さい

札幌腎臓病患者友の会

第 28 回 総 会 次 第

1. 開会のあいさつ 10:00
2. 黙 と う
3. 会長のあいさつ
4. 来賓のあいさつ
5. 祝電・メッセージ披露
6. 議 長 選 出
7. 報 告 事 項
 - (1) 平成14年度 活 動 報 告
 - (2) 平成14年度 決 算 報 告
 - (3) 平成14年度 監 査 報 告
8. 審 議 事 項
 - (1) 平成15年度 活 動 方 針(案)
 - (2) 平成15年度 予 算(案)
 - (3) 平成15年度 役 員 改 選(案)
 - (4) そ の 他
9. 閉会のあいさつ 12:00

平成一四年度活動報告

平成一四年度は近隣諸国や世界情勢に日が離せない状況でした。日本では構造改革を最大の目標として掲げ、国民もこれに大きな期待を膨らませました。しかし、最初に取り組んだ行政改革は引きのばしが多く、財源不足は解消されませんでした。

また、公費の削減や、取りやすい所から取る税率アップなどが実施され、社会保険本人の医療費三割自己負担が平成一五年四月より実施されました。

透析患者では、透析中の食事代の有料化、透析技術料の一元化、

検査料の引き下げなどの診療報酬改定が実施されました。今後の福祉・医療保険制度の改悪には絶対に対応をしなければなりません。

腎友会においては、幹事会・勉強会・親睦交流会・各事業や運動・広報活動などを行いました。また、組織強化検討委員会を設置して三年、結果を出すまでには、まだ時間が必要と思いますが、一応大部分の活動は終わっています。

今後においても会員の皆様と様々な問題に取り組み、組織強化・運営・活動に努めたいと思います。

主な経過報告

●平成14年

- 4月13日 事務所移転(独自の事務所を設置)
- 4月25日 機関紙「生きる仲間」第60号(議案書)発行
- 4月27日 定期総会打合せ会議(北区民センター16名)
- 5月12日 第27回札幌腎友会定期総会(北区民センター42名)
- 5月19日 第25回道腎協総会札幌大会
- 5月23日 市役所訪問(柳沼事務局長)

- 5月26日 全腎協全国大会(秋田県)
- 7月4日 第1回幹事会打合せ会議(事務所12名)
- 7月17日 機関紙「生きる仲間」第61号発行
- 7月21日 第1回幹事会・役員勉強会(北区民センター25名)
- 7月23日 組織強化検討委員会アンケート(事務所6名)
- 7月28日 炊事遠足実行委員会(事務所7名)
- 8月4日 北海道難病連合道集會(釧路大会)
- 8月7日 幹事会報告「生きる仲間」臨時5号発行
- 8月8日 腎キャンペーン実行委員会(事務所11名)
- 8月25日 炊事遠足(月形皆楽公園96名)
- 9月21日 第2回幹事会打合せ会議(事務所7名)
- 9月22日 腎提供者拡大街頭キャンペーン(大通り西3丁目66名)
- 10月13日 第2回幹事会(北区民センター24名)
- 10月27日 道腎協主催役員研修会(ホテル札幌会館)
- 10月29日 国会請願署名募金運動開始
- 11月14日 機関紙「生きる仲間」第62号発行

●平成15年

- 1月16日 ボウリング大会実行委員会(事務所4名)
 - 1月19日 幹事新年会(ホテル札幌会館21名)
 - 2月6日 市役所訪問(鈴木会長、村本副会長、柳沼事務局長)
 - 2月23日 親睦ボウリング大会(青木ポウル50名)
 - 3月2日 第3回幹事会打合せ会議(事務所5名)
 - 組織強化検討委員会(事務所5名)
 - 3月16日 第3回幹事会(北区民センター35名)
 - 3月27日 機関紙「生きる仲間」第63号発行
- ※その他に、各月末に事務局打合せ会議を実施しています。また各実行委員会や、機関紙「生きる仲間」の編集委員会など何度も実施してありますが、省略してありますのでご了承ください。

主な活動報告

1 会員の拡大と組織の強化

平成一三年度より三年間、組織強化検討委員会を設置して、会員拡大と組織強化に取り組んできました。

アンケート調査、しおり・パンフレットの作成、施設訪問、幹事活動マニュアルの作成などに重点をおいて活動を進めてきました。

また、平成一四年四月に独自の事務所を設置（札幌市北区北一七条西二丁目二番六・七一三〇）し、気分を一新して頑張ってきました。

しかし、会員の大幅な増加にはなりませんでしたが、これまでの検討委員会の皆様の努力は、今後において必ず実を結ぶものと思います。引き続き、会員拡大と組織強化には力をいれて活動していきたいと思えます。

結果、平成一四年度末会員数、五五一名（平成一三年度末会員数、五四五名）となりました。今後

も皆様のご協力をお願いします。

2 親睦・交流事業

(1) 炊事遠足（八月二五日）

大雨の月形皆楽公園での開催となりましたが、参加者全員の協力で予定通りに豚汁・ジンギス汗つくりを楽しむことが出来ました。

(2) 文化交流活動（親睦ボウリング大会、二月二三日）

青木ボウルにおいて五〇名が参加して、親睦ボウリング大会を開催しました。参加者はそれぞれボ

ールに願いを込めての投球で、入賞をめざして頑張り、日頃の運動不足を解消していた、いただきました。その後、食事会場で表彰が行われ、お祝いの拍手の中、受賞者に賞品が渡されました。

3 全腎協・道腎協および難病連との運動

(1) 健康保険制度及び福祉制度改善に反対する運動

平成一四年四月からの診療報酬改定により、透析医療費が抜き打ち的に、透析料金の一元化、検査料の引き下げ、外来透析中の食事が保険適用外になることになり、急ぎよ全腎協・道腎協では中医学や厚労省に抗議や陳情を行いました。その原案は変更されませんでした。



炊事遠足



ボウリング大会



腎キャンペーン

当日は、意思表示カード・ティッシュなどを配布し、臓器提供の意思の有無と意思表示カードの携帯を呼び掛けました。

九月二二日(月)、大通り西三丁目において腎提供者拡大街頭キャンペーンを実施しました。道庁・札幌市・北海道腎臓バンク・市立札幌病院・札幌スノーライオンズクラブ・札幌エルムライオンズクラブ・北海道移植者協議会・北海道難病連の八団体と患者・家族など六名の参加で実施しました。

全腎協ではすぐに厚労省に対し再改定の交渉を始め、七月には改定による影響実態調査を実施し、結果の中で特に「食事提供の廃止」が七・八%、「食事代の患者負担導入」が八・七%、「患者負担なしの食事提供」が五・三%などを根拠に、一〇月に改めて透析医療費に関する診療報酬再改定を要望する交渉を行いました。私たちの望むような回答は得られ

ていません。また、北海道においても制度への所得制限導入をする市町村が増えてきています。ただ、一つの朗報は、札幌腎友会が札幌市に以前より要望していた、重度心身障害者(透析患者は身障者手帳一級に限る)への交通費助成制度に、平成一五年四月より「自動車燃料助成券」が追加選択出来るようになりました。

(2) 腎提供者拡大に関する運動

平成14年度国会請願署名募金結果報告

施設名	全腎協		J	P	C	移植法改正署名数
	署名数	募金額				
石狩病院	85	20,300	86	2,000	123	
石川泌尿器科	367	4,000	357	2,000	0	
稲積公園駅前クリニック	375	47,400	355	8,000	170	
いのけ医院	249	7,500	249	2,000	152	
うえと医院	—	—	—	—	30	
H・N・メディック	631	27,100	631	4,300	260	
H・N・メディック北広島	309	26,500	329	4,000	209	
N T T 東日本札幌病院	481	21,000	464	2,300	180	
小笠原クリニック札幌病院	16	1,000	10	1,000	0	
小笠原クリニック外来プラザ	36	3,000	40	1,000	0	
兼古循環器クリニック	160	12,500	160	500	91	
清田泌尿器科	124	9,260	121	1,000	59	
勤医協中央病院	580	27,000	326	3,000	229	
クボタ泌尿器科クリニック	40	6,500	40	0	0	
光星泌尿器科医院	139	5,000	110	0	60	
幌南病院	80	3,000	70	8,000	60	
坂泌尿器科病院	0	0	0	0	46	

次頁へつづく

札幌北クリニック	981	75,539	850	2,942	325
札幌厚生病院	116	20,000	108	0	85
札幌セントラルクリニック	196	5,000	196	0	130
札幌中央病院	20	4,570	20	2,504	0
札幌東クリニック	1,060	38,311	1,060	9,700	480
札幌北楡病院	882	51,500	900	4,500	414
佐藤医院	45	4,300	41	0	56
田園通りさわぎき医院	246	14,000	246	0	100
三樹会病院	240	3,000	240	0	60
J R 札幌鉄道病院	231	6,000	231	2,000	100
自衛隊札幌病院	22	0	22	0	46
市立札幌病院	213	18,500	201	3,500	100
仁愛会外科クリニック	121	5,500	111	5,500	173
新札幌循環器病院	42	23,000	42	0	27
仁楡会病院	570	25,700	530	0	329
澄腎クリニック	654	32,500	610	4,100	294
桑園中央病院	250	11,700	230	5,000	150
田島クリニック	530	16,315	520	1,300	390
手稲溪仁会病院	70	2,000	70	1,000	50
手稲ネフロクリニック	200	8,000	200	5,000	28
ていね泌尿器科	400	21,200	380	14,700	162
中野医院	191	17,000	170	1,000	90
新井田医院	360	16,900	360	5,900	0
はまなす外科医院	46	3,000	46	3,000	15
広田医院	42	6,400	39	0	40
福住泌尿器科クリニック	0	0	0	0	54
北光記念病院	80	13,000	80	0	60
マロニエ通りクリニック	75	7,000	75	0	60
萬田記念病院	75	3,900	86	2,400	120
南一条病院	1,170	94,400	1,100	0	420
宮の森記念病院	501	8,000	241	2,000	210
恵み野病院	0	0	0	0	69
恵庭クリニック	52	0	48	0	0
元町泌尿器科	30	0	28	0	0
山本医院	22	0	31	4,000	30
40条クリニック	20	3,000	20	0	0
渡井医院	282	17,000	284	1,800	167
個人会員	89	16,800	89	1,700	—
その他(ライオンズクラブ)	15	0	0	0	—
合計	13,814	814,095	12,853	122,646	6,503

札幌腎友会配分金(全腎協募金50%) 407,047円、J P C配分金なし、今年度の全腎協国会請願は3月27日に行われました。

昨年度結果 全腎協署名数合計 15,623名 募金額合計 911,023円(還元金318,858円)
J P C署名数合計 13,846名 募金額合計 144,240円

国民の九割が脳死移植を認知し、一割弱がカードを所持しているとのこと。

(3) 国会請願署名募金運動

全腎協の一腎疾患総合対策の早期確立を要望する「国会請願署名募金運動及び、JPCの「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願署名募金運動を実施しました。

今年の全腎協の請願は、「必要ならすべての人に介護の保障」「透析患者の在宅・施設サービスの拡充」「通院介護保障体制を確立」「糖尿病性腎症の予防と啓発活動の強化」「医療・福祉従事者不足の解消」「臓器移植のコーディネーター増員と身分保障」を請願項目として、私たちの代表が国会議員に早期実現をお願いしました。

また今年度も、一五歳未満の子供にも臓器提供していただけるように、「臓器移植法の改正をお願いする」国会請願署名も実施しました。

集計結果は表のとおりです。ご協力ありがとうございました。今後皆様のご協力をお願いいたします。

4 広報活動

(1) 機関紙「生きる仲間」の発行

今年度、機関紙「生きる仲間」は総会議案書を含め四回発行し、幹事会報告として、臨時五号・六号も発行しました。

機関紙「生きる仲間」は、会員にとって大切な情報を提供すると共に、ご意見の発表の場になっています。また、会員の連携をはかる上で、重要なパイプともなっています。より分かりやすい情報提供や、楽しめる紙面にするような編集に力をいれました。

今後皆様からのご意見やアイデアを、編集に活かしたいと思っておりますので、より一層のご協力をお願いいたします。

(2) 「ぜんじんきょう」どうじんの配布

「ぜんじんきょう」六回・どうじん五回をそれぞれ配布しました。

5 資金造成活動

(1) 北海道難病連の販売あっせん事業

ピアガーデン利用券を、幹事さんや会員の皆様に販売・購入して

いただきました。販売額の結果は次頁の表のとおりです。

なお、還元金は全額(三四、五〇〇円)札幌腎友会に寄付していただきました。皆様のご利用ご協力ありがとうございました。

(2) 正月飾り販売事業

正月飾り販売は今年度より、札幌腎友会が直接製造元と契約して販売し、販売額の結果は次頁の表のとおりです。

なお、販売に協力していただいた施設には、販売額の二割を還元して、札幌腎友会の販売益は(一〇〇、四七七円)になりました。皆様のご協力ありがとうございました。

6 その他の活動

(1) 役員の人材育成と発掘

長期にわたり役員を務めている方や、仕事をされる方などが役員をしているために、会活動と休調維持や仕事との両立には限界があり、入院をしたり年度途中でお止めになった役員もいるなかで、役員一同、会員の皆様と共にお互いをカバリーしながら会活動を続けてきました。

日頃の活動の積み重ねが、人材育成と発掘につながると思いますので、会員の皆様には札幌腎友会の活動に積極的に参加していただきたいと思っております。

(2) 役員勉強会

○七月二一日(日)、幹事会終了後、村本副会長と中村喜公幹事にバネラーになっていただき、鈴木会長の司会で、それぞれの施設での会活動の取組みについてディスカッションを行いました。

○一〇月二七日(日)、道腎協主催の役員研修会が行われ、道腎協組織強化について、検討委員会からの計画・実行案を基に、参加者で討議を行い、札幌腎友会の幹事の皆様にも参加していただきました。

(3) 臓器移植基金募金箱運動

道腎協で実施している臓器移植基金募金箱運動は、会員・家族・その他趣旨に賛同いただいた方のご協力によるものです。

結果は次頁のとおりです、ご協力ありがとうございました。

なお、募金は全額道腎協より北海道腎バンクに寄附されました。

ピアガーデン利用券販売結果報告

協力施設名	販売額	協力施設名	販売額
う え と 医 院	10,000	札 幌 北 楡 病 院	33,000
H・N・メ ディ ッ ク	5,000	仁 楡 会 病 院	60,000
勤 医 協 中 央 病 院	20,000	澄 腎 ク リ ニ ッ ク	20,000
光 星 泌 尿 器 科 医 院	36,000	宮 の 森 記 念 病 院	10,000
札 幌 北 ク リ ニ ッ ク	151,000	合 計	345,000

正月飾り販売結果報告

協力施設名	販売額	協力施設名	販売額
石 狩 病 院	8,000	サ ン 内 科 外 科 病 院	10,360
稲 積 公 園 駅 前 ク リ ニ ッ ク	45,400	手 稲 ネ フ ロ ク リ ニ ッ ク	6,200
H・N・メ ディ ッ ク	18,040	て い ね 泌 尿 器 科	16,060
H・N・メ ディ ッ ク 北 広 島	15,220	中 野 医 院	23,620
小 笠 原 ク リ ニ ッ ク 外 来 プ ラ ザ	7,480	南 条 病 院	32,070
清 山 泌 尿 器 科	5,600	宮 の 森 記 念 病 院	19,540
光 星 泌 尿 器 科 医 院	35,340	山 本 医 院	11,880
札 幌 北 ク リ ニ ッ ク	82,060	個 人 会 員 (5名)	28,480
		合 計	365,350

臓器移植基金募金箱回収金額報告

取扱い施設名	金額	取扱い施設名	金額
う え と 医 院	2,236	札 幌 北 ク リ ニ ッ ク	2,057
勤 医 協 中 央 病 院	1,088	中 野 医 院	9,620
光 星 泌 尿 器 科 医 院	12,373	合 計	27,374

平成14年度一般会計決算報告

自 平成14年4月1日

至 平成15年3月31日

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
会 費	9,600,000	9,140,000	1,551名
寄 付 金	50,000	399,839	
事 業 収 入	110,000	134,977	正月飾り販売益その他
雑 収 入	2,000	31,627	利子その他
小 計	9,762,000	9,706,443	
前 期 繰 越 金	820,446	820,446	
合 計	10,582,446	10,526,889	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
加 盟 費	6,720,000	6,398,000	全腎協・道腎協会費
総 会 費	190,000	185,462	議案書・会場費他
会 議 費	50,000	5,256	幹事会費他
事 務 費	130,000	123,493	事務用品費他
通 信 費	280,000	313,288	切手、発送費他
親睦交流会費	100,000	104,191	親睦交流会費
参 加 費	100,000	59,380	全腎協大会参加費他
事 務 局 費	1,250,000	1,215,181	事務局家賃、事務局長・会計手当他
活 動 費	300,000	283,407	会長活動費他
組 織 強 化 費	100,000	49,990	組織強化費
機 関 紙 費	480,000	428,340	生きる仲間 3回発行
慶 弔 費	20,000	48,018	電報代他
雑 費	50,000	45,084	振込み手数料他
予 備 費	612,446	0	
特 別 会 計 へ	200,000	200,000	特別会計へ繰出金
小 計	10,582,446	9,459,090	
次 期 繰 越 金		1,067,799	
合 計	10,582,446	10,526,889	

平成14年度特別会計決算報告

白 平成14年4月1日
至 平成15年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	金 額	科 目	金 額
国会請願券金配分金	407,047	腎提供キャンペーン費	42,719
一般会計より繰入金	200,000	30周年積立金へ繰出金	300,000
雑 収 入	305	事務局強化積立て金へ繰出金	100,000
前期繰越金	419,974	予 備 費	0
合 計	1,027,326	次 期 繰 越 金	584,607
		合 計	1,027,326

平成14年度事務局強化 積立金決算報告

白 平成14年4月1日
至 平成15年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	金 額	科 目	金 額
特別会計より繰入金	100,000	事務局移転費	23,200
雑 収 入	42	事務局備品費	156,618
前期繰越金	552,720	予 備 費	0
合 計	652,762	平成15年度特別会計へ繰出金	472,944
		合 計	652,762

平成14年度30周年記念事業 積立金決算報告

白 平成14年4月1日
至 平成15年3月31日

科 目	金 額	摘 要
前年度の積立金	918,510	
今年度の積立金	300,000	特別会計より繰入金
合 計	1,218,510	

平成14年度会計監査報告

私は札幌腎友会の平成14年度の決算報告に基づき関係書類、帳簿等を監査した結果、会計処理に間違いのないことを報告いたします。

平成15年3月31日

会計監査役 岩 館 二 男 印
三 上 照 美 印

平成一五年度活動方針(案)

世界情勢は緊迫の状態が続き、日本経済も低迷の途をたどっています。

日本も今後の情勢を見極め、判断を誤らないようにしていた。きたいと思えます。また、経済の復活を期待したいものです。

昨年の診療報酬改定では、透析技術料の一元化や検査料が引下げられ、今後本当に適正な透析を受けられるのか心配になります。また、透析中の食事が廃止で食事代が自己負担になり、食事をしない患者が出てきたりしています。

主な活動目標

1 会員の拡大と組織の強化

平成一三年度より三年間、組織強化検討委員会を設置して会員の拡大と組織の強化に取り組んできました。会員数が平成一三年度三月末、一、二七八名から、平成一五

北海道においても、^①制度に所得制限が導入され、所得により医療費負担をしなければならぬ患者が出てきたりなど、自己負担が口に見えて増加しています。

これらの制度改正が、果たして適正なのか疑問を持って考え、取り組まなければならない課題です。

今年度も、全腎協・道腎協と札幌腎友会が団結・連携して、この様な問題に取り組んでいきたいと思えます。

年三月末、五五〇名となり、大幅な増加にはなりませんでしたが、これまでの企画や実施の努力は、今後の活動に生かされ成果が上がるものと思えます。

私たちの医療保険制度にも自己負担の波が押し寄せ、これを押し返すのは大変むずかしいことで

す。一人ひとりの努力、そして団結こそが大切であることは明白であり、組織の強化に会員の増加はかせませぬ。

ぜひ今後も、会員拡大の努力を皆様と一緒に続けていきたいと思えますので、いっそうのご協力をよろしくお願いします。

2 親睦交流事業

(1) 炊事遠足

〔実行委員会設置〕

(2) 文化交流活動(ボウリング大会)

〔実行委員会設置〕

(3) 三〇周年記念事業

〔実行委員会設置〕

3 全腎協・道腎協および難病連との運動

(1) 健康保険制度及び福祉制度改革に反対する運動

(2) 腎提供者拡大街頭キャンペーン

〔実行委員会設置〕

(3) 全腎協の「腎疾患総合対策の早期確立を要望する」国会請願

署名募金運動、及びJPCの、総合的難病対策の早期確立を要望する「国民請願署名募金運動」など

4 広報活動

(1) 機関紙「生きる仲間」の発行

二回、議案書として一回、臨時号数回

〔編集委員会設置〕

(2) 「ぜんじんきょうどうじん」の配布

5 資金造成活動

(1) 北海道難病連の販売あつせん事業(「アガーデン」利用券販売に協力(「還元金は全額札幌腎友会に寄附))

(2) 正月飾り販売は、札幌腎友会独自で取り組み(販売益は販売施設と札幌腎友会で按分)

6 その他の活動

(1) 役員の人材育成と発掘

(2) 役員勉強会

(3) 臓器移植基金募金箱運動

平成15年度一般会計予算(案)

自 平成15年4月1日

至 平成16年3月31日

収入の部

科 目	前年度決算額	予 算 額	備 考
会 費	9,140,000	9,600,000	1,600名×6,000円
寄 附 金	399,839	50,000	
事 業 収 入	134,977	110,000	正月飾り販売益その他
雑 収 入	31,627	2,000	利子その他
小 計	9,706,443	9,762,000	
前期繰越金	820,446	1,067,799	
合 計	10,526,889	10,829,799	

支出の部

科 目	前年度決算額	予 算 額	備 考
加 盟 費	6,398,000	6,720,000	1,600名×4,200円 全腎協・道腎協会費
総 会 費	185,462	190,000	議案書(機関紙“生きる仲間”として)、その他
会 議 費	5,256	115,000	幹事会費他
事 務 費	123,493	130,000	事務用品費
通 信 費	313,288	330,000	切手、発送費
親 睦 交 流 費	104,191	120,000	親睦交流会費
参 加 費	59,380	100,000	全腎協大会参加費(1名分)他
事 務 局 費	1,215,181	1,300,000	事務局家賃、事務局長・会計手当他
活 動 費	283,407	300,000	会長活動費他
組 織 強 化 費	49,990	100,000	組織強化費
機 関 紙 費	428,340	480,000	生きる仲間 3回発行
慶 弔 費	48,018	50,000	電報代他
雑 費	45,084	50,000	振込み手数料他
予 備 費	0	344,799	
繰 出 金	200,000	500,000	特別会計へ繰出金
小 計	9,459,090	10,829,799	
次期繰越金	1,067,799	—	
合 計	10,526,889	10,829,799	

平成15年度特別会計予算(案)

自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	金 額	科 目	金 額
国会請願募金配分金	400,000	腎提供キャンペーン費	200,000
一般会計より繰入金	500,000	30周年積立金へ繰出金	1,300,000
平成14年度事務局強化積立金より繰入金	472,944	事務局強化費	100,000
雑収入	50	予備費	357,601
前期繰越金	584,607	合 計	1,957,601
合 計	1,957,601		

平成15年度30周年記念事業積立金(案)

自 平成15年4月1日
至 平成16年3月31日

(収入の部)

(支出の部)

科 目	金 額	科 目	金 額
特別会計より繰入金	1,300,000	会 議 費	100,000
前期繰越金	1,218,510	予 備 費	2,418,510
合 計	2,518,510	合 計	2,518,510

平成一五・一六年度 役員(案)

会 長

鈴木啓三(札幌北クリニック)

副会長

村本徳雄(札幌北クリニック)

苜木芳三(自衛隊札幌病院)

会 計

石井典子(光星泌尿器科医院)

事務局長

柳沼正一(手稲ネフロクリニック)

事務局次長

吉田季代乃(H・N・メディック)

運営委員

棚田まゆみ(田島クリニック)

佐藤 功(光星泌尿器科医院)

中村喜公(勤医協中央病院)

川村隆志(宮の森記念病院)

堀井和彦(光星泌尿器科医院)

澤内繁雄(仁 榆 会 病 院)

会計監査役

新山正紘(中野 医 院)

横堀信雄(稲積公園駅前クリニック)

幹事

石川 泌尿器科 (遠藤 兼市・伊藤 邦夫)
 稲積公園駅前クリニック (横堀 信雄・沢田 英子・高柳 昌一)
 いのけ 医 院 (三沢 祥子)
 H・N・メディック 院 (西山 道博・吉田季代乃)
 N T T 東日本札幌病院 (稲田 邦昌・河野 恒雄)
 小笠原クリニック札幌病院 (鎌田 昭男)
 小笠原クリニック外来プラザ ()
 兼古循環器クリニック (雨宮 英子)
 清田 泌尿器科 (川島 静子)
 勤医協 中央病院 (木谷 憲男・中村 喜公)
 クボタ泌尿器科クリニック (宮本 國江)
 クリニック198札幌 (武田 誠剛)
 芸術の森泌尿器科 (佐々木 栄)
 光星泌尿器科医院 (堀井 和彦)
 幌南 病院 (阿部 勝夫・内海 寿彦)
 坂泌尿器科病院 ()
 札幌北クリニック (高橋 幹子・仲山千鶴子・正岡 正由)
 札幌厚生病院 (小野 優子)
 札幌セントラルクリニック (西山 利彦・倉田 康司・杉本 恵子)
 札幌東クリニック (佐々木美智子)
 札幌北 榆 病院 (鈴木 英二・袋山 勇・新井 静子)
 (関根 睦子・原田美智子)
 佐藤 医 院 (庄野 一男・今 武雄)
 三 樹 会 病 院 (岡山 順子)
 J R 札幌鉄道病院 (中嶋 一夫・斉藤 栄子)
 自衛隊札幌病院 (菅木 芳三)
 市立札幌病院 ()
 仁愛会外科クリニック (中崎美津子・齋藤 好子)
 新札幌循環器病院 ()

仁 榆 会 病 院 (望月 悦子・千葉 斌・澤内 繁雄)
 澄腎クリニック (大塚 艶子・原田 孝子)
 桑園 中央病院 (本田 敏・高橋 春好)
 田島クリニック (棚田まゆみ・三上 照美)
 手稲溪仁会病院 (長沼 和代)
 手稲ネフロクリニック (高木 和彦・柳沼 正一)
 ていね泌尿器科 ()
 中 野 医 院 (新山 正紘・福原真理子)
 新 井 田 医 院 (南出 陽雄・岡崎 政司)
 広 田 医 院 (外崎 豊)
 福住泌尿器科クリニック (小山 隆夫)
 北光 記念病院 (下川 勉)
 マロニエ通りクリニック (長谷川賢二)
 元町 泌尿器科 ()
 もなみクリニック ()
 萬田 記念病院 ()
 南 条 病 院 (岩館 二男・三上留美子)
 宮の森記念病院 (小澤由紀恵)
 山 本 医 院 ()
 ゆうあいクリニック ()
 40 条クリニック ()
 渡 井 医 院 (古澤 廣・新津由美子・塚原 七生)
 石 狩 病 院 ()
 H・N・メディック北広島 (前田 吉雄・三宝 正延)
 田園通りさわぎ医院 ()
 はまなす外科医院 (杉本 和昌)
 恵 み 野 病 院 ()
 恵庭クリニック ()

※北三条泌尿器科クリニックはマロニエ通りクリニックに改称されました。

各委員会(案)

◎炊事遠足実行委員会

〈委員長〉 中村 喜公(勤医協中央病院)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員〉 兩宮(兼古循環器クリニック)、佐々木(芸術の森泌尿器科)、木谷(勤医協中央病院)、中嶋・斉藤(丁R札幌鉄道病院)、高橋・仲山・正岡(札幌北クリニック)、稲田・河野(NIT東日本札幌病院)、本山・高橋(桑園中央病院)

◎文化交流活動(ポウリング大会) 実行委員会

〈委員長〉 棚田まゆみ(山島クリニック)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員〉 高柳(稲積公園駅前クリニック)、鎌田(小等原クリニック札幌病院)、鈴木・新井・関根・原田・巖田(札幌北病院)、大塚・原田(澄腎クリニック)、三上(田島クリニック)、吉澤・新津・塚原(渡井医院)、三沢(いのけ医院)、遠藤・伊藤(石川泌尿器科)

◎腎提供キャンペーン実行委員会

〈委員長〉 柳沼 正一(手稲ネフロクリニック)

〈副委員長〉 (実行委員会にて選出)

〈委員〉 横堀・沢田(稲積公園駅前クリニック)、西山・倉田(札幌セントラルクリニック)、佐々木(札幌東クリニック)、中崎・齋藤(仁愛会外科クリニック)、望月・千葉(仁榆会病院)、新山・福原(中野医院)、長谷川(マロニエ通りクリニック)、小澤(宮の森記念病院)、下川(北光記念病院)

◎三〇周年記念事業実行委員会

〈委員長〉 柳沼 正一(手稲ネフロクリニック)

〈副委員長〉 村本 徳雄(札幌北クリニック)

〈委員〉 菅木 芳三(白衛隊札幌病院)

鈴木 啓三、石井 典子、吉山季代乃、佐藤 功、棚田まゆみ、中村 喜公、川村 隆志、堀井 和彦、澤内 繁雄

◎編集委員会

〈委員長〉 佐藤 功(光星泌尿器科医院)

〈副委員長〉 柳沼 正一(手稲ネフロクリニック)

〈委員〉 村本 徳雄(札幌北クリニック)、石井 典子(光星泌尿器科医院)、吉田季代乃(H・N・メディック)

道腎協派遣役員(案)

〈会長〉 川村 隆志(宮の森記念病院)

〈副会長〉 堀井 和彦(光星泌尿器科医院)

〈会計〉 村本 徳雄(札幌北クリニック)

〈事務局長〉 澤内 繁雄(仁榆会病院)

〈事務局次長〉 三上留美子(南一条病院)

〈運営委員〉 柳沼 正一(手稲ネフロクリニック)

菅木 芳三(白衛隊札幌病院)

〈幹事〉 佐藤 功(光星泌尿器科医院)

石井 典子(光星泌尿器科医院)

〈会計監査役〉 福原真理子(中野医院)

札幌腎臓病患者友の会会則

第1章 総 則

(名称及び事務局)

第1条 本会は札幌腎臓病患者友の会(略称：札幌腎友会)と称する。

2 本会の事務局は札幌市内に置く。

(組 織)

第2条 本会は腎臓病患者とその家族をもつて構成する。

2 本会は北海道腎臓病患者連絡協議会(略称：道腎協)へ加盟するとともに、社団法人全国腎臓病協議会(略称：全腎協)及び財団法人北海道難病連(略称：道難病連)へも道腎協を通して加盟する。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と交流を計り、腎臓病患者の健康の維持増進と、生

(事 業)

活の質的向上を計ること

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員拡大と組織強化に関する事業
- (2) 会員相互の親睦交流に関する事業
- (3) 広報に関する事業
- (4) 疾病に関する医学知識の学習
- (5) 会員の福利厚生、福利増進に関する事業
- (6) 関係機関又は団体との連絡
- (7) その他目的を達成するため必要な事業

第3章 会 員

(種 別)

第5条 本会の会員は次の二種とする。

- (1) 正会員：本会の趣旨に賛

同して入会した腎臓病患者であること。

- (2) 賛助会員：本会の事業を賛助するために入会した個人又は団体とする。

(入 会)

第6条

正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、入会申込書に別に定める会費を添えて、各施設幹事を通して、又は直接事務局に提出したときから会員とする。

(退 会)

第7条

正会員及び賛助会員は、各施設幹事を通して、又は事務局に直接退会届を提出し任意に退会することができる。

2 死亡したとき。

3 会員がこの会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき、幹事会に因って退会させる事ができる。

第4章 役 員

(役 員)

第8条 本会の出滑な運営を図るため、次の役員を置く。

- (1) 会長 一名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 会計 一名
 - (4) 事務局次長 一名
 - (5) 事務局次長 若干名
 - (6) 運営委員 若干名
 - (7) 幹事 各施設若干名
 - (8) 会計監査役 二名
 - (9) 相談役 若干名
- 2 前項の選出において、幹事は各施設ごとに選出され、その他の役員は役員の互選による。
- 3 役員任期は二年とし、再選を妨げない。また、中途補充により選出された役員任期は前任者の残任期間とする。
- 4 役員は辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務

を行わなければならない。

5 役員は本会の運営に支障を及ぼすことのない場合に限り、道賢協又は全腎協若しくは他の役員を兼任することができる。

6 各種事業の円滑推進を図るため、事業ごとの実行委員会を組織運営することができ。

(役員の仕事)
第9条 会長は会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代理する。

3 会計は本会の収支状況の経理を行い、総会において会計報告をし、承認をうける。

4 事務局長は会議の企画立案、各種事業を推進し、事務全般を総括する。

5 事務局次長は事務局長を補佐し、各種事業の円滑推進に寄与する。

6 運営委員は会の運営に寄与し、各事業部門の分担運営にあたる。

代表であり、幹事会を構成し、各種行事の案内、出欠、幹事の取りまとめ、会費の徴収、機関紙の配布、各種連絡に寄与する。

8 会計監査役は年度末に現金出納簿、関係書類を監査し、幹事会及び総会において結果を報告する。

9 相談役は幹事会に対し意見を述べる事が出来る。

第5章 会 議

(種別)

第10条 本会の会議は次の通りとする。

(1)総会

(2)幹事会

(総会)

第11条 総会は会の最高議決機関であつて、年一回前年度の会計期間終了後、すみやかに会長が召集する。

2 臨時総会は会長が必要と認めたととき、又は会員の五分の一以上の要請があつたとき召集することができる。

3 総会は正会員をもつて構成する。

4 総会は正会員の過半数(委任状、文書出席を含む)の出席をもつて成立する。

(総会委任)
第12条 総会当口、やむを得ない理由で出席できない正会員は、総会の運営上、各施設幹事にその権限を委任するものとし、この場合幹事の出席をもつて、正会員は出席したものの(委任状提出者)とみなす。

(幹事会)

第13条 幹事会は総会に次ぐ、議決機関であつて年二回以上開催する。

2 幹事会は幹事と他の役員をもつて構成し、構成員の半数以上(委任状を含む)の出席をもつて成立する。

(会議の議長)

第14条 総会における議長は出席した正会員から選出し、幹事会における議長は原則として会長が務めるものとする。

(会議の議決)

第15条 会議における議事の議決は、原則として賛否によらず、相互の意見を尊重しながら、十分な議論をするものとし、やむなく議決の必要が生じた場合は、出席者の過半数の賛成をもつて議決し、可否同数の場合は議長が決する。

(総会、幹事会付議事項)

第16条

総会、幹事会に必ず付議しなければならない事項は次の通りとする。

(1)会則の改正に関すること

(2)事業経過・計画、収支決算・予算、役員承認、会計監査に関すること

第6章 会 計

(経費)

第17条

本会の経費は、会費及び寄附金、その他の収入によつて賄う。

(会費)

第18条

正会員及び賛助会員は、会則に定める会費を納入しなければならない。

2 会費は会員ひとり当たり、年額六千円（内訳・

札幌腎友会千八百円、道
腎協二千四百円、全腎協
千八百円）とし中途入会
者は、月割（月額五百円）
計算とする。

3 会費納入は原則として新
年度の早い時期にすみや
かに納入しなければなら
ない。

4 一旦納入した会費及び拠
出金品は、収支予算上重
大な支障を及ぼすため、
これを一切返戻しない。

（会計年度）

第19条 本会の会計年度は毎年四
月一日に始まり翌年三月
三十一日に終わる。

（現金出納簿及び関係書類）

第20条 本会の収支状況を記録し
た現金出納簿及び関係書
類は、総会において監査
報告を受け、承認された
のち、三年間保存しなけ
ればならない。その後は
焼却処分とする。

第7章 簿 冊

（会則及び役員名簿）

第21条 本会の会員名簿は、入会
申込書を綴り事務局で常
に記録整理し、持出し禁
止とする。

2 本会の役員名簿を作成し
二年に一回役員に配布
し、永久保存するものと
する。

3 役員及び会員は、名簿記
載事項に変更が生じたと
きは、速やかに事務局に
連絡するものとする。

（会則綴り）

第22条 本会の会則を会則綴りに
保管し、改正の都度記録
を綴り永久保存するもの
とする。

第8章 表彰及び慶弔

（表 彰）

第23条 本会に長年入会し、多人
な功績があつたと認めら
れる会員は、幹事会の決
定により、会長表彰を授
与し、又は道腎協の感謝
状を上申することができ

る。

2 本会が五年ごとに行つて
いる記念式典に於いて正
会員で十年、二十年、三
十五年、三十年の長期透
析者には、その労苦をた
たえ記念品をそえて表彰
する。

（慶 弔）

第24条 本会の会員が結婚もしく
は、死亡した場合で、そ
の施設の幹事から、儀式
にまにあうよう連絡を受
けた時は、祝電又は弔電
を打つ事とする。

2 本会の役員及び旧役員が
亡くなった場合で、本会
に多大な功績があつたと
認められた時は、会長の
判断で弔電の他に香典
（五千円）を出すことが
できる。

第9章 付 則

（会則の改正）

第25条 本会の会則の改正は、幹
事会において審議し、総
会において出席者の過半
数の同意がなければ改正

することができないもの
とする。

2 本会の会則は、一九七四
（昭和四十九）年六月一
日から施行。

(1) 一九九〇（平成二）年四
月十五日 一部改正（会
費年額四千二百円から六
千円）

(2) 一九九二（平成四）年四
月十九日 一部改正（会
計監事から会計監査）

(3) 一九九七（平成九）年五
月十一日 一部改正（事
務局次長若干名新設）

(4) 一九九八（平成十）年五
月十日 大幅改正

(5) 一九九九（平成十）年
五月九日 一部改正（運
営委員若干名新設）

(6) 二〇〇二（平成十四）年
五月十二日 一部改正

（相談役新設）

施設別会費納入者数

施 設 名	会費納入者数		施 設 名	会費納入者数	
	H13年度	H14年度		H13年度	H14年度
石川泌尿器科	65	70	仁 檢 会 病 院	68	66
稲積公園駅前クリニック	47	47	澄 腎 クリニック	37	44
いのけ 医 院	25	23	桑 園 中 央 病 院	34	31
う え と 医 院	5	3	田 島 クリニック	57	57
H・N・メディック	46	55	手 稲 溪 仁 会 病 院	1	6
N T T 東 日 本 札 幌 病 院	28	28	手 稲 ネ フ ロ クリニック	15	20
小等原クリニック札幌病院	6	5	て い ね 泌 尿 器 科	31	40
兼占循環器クリニック	12	10	中 野 医 院	46	38
清 田 泌 尿 器 科	17	17	新 井 田 医 院	19	17
勤 医 協 中 央 病 院	107	95	東 苗 穂 病 院	—	1
クボタ泌尿器科クリニック	7	8	広 田 医 院	9	9
クリニック 198 札 幌	23	21	福 住 泌 尿 器 科 クリニック	9	8
芸 術 の 森 泌 尿 器 科	13	10	布 施 川 内 科 医 院	4	3
光 星 泌 尿 器 科 医 院	12	12	北 光 記 念 病 院	9	16
幌 南 病 院	26	25	萬 山 記 念 病 院	19	19
坂 泌 尿 器 科 病 院	5	5	マ ロ ニ エ 通 り クリニック	15	14
札 幌 北 クリニック	101	108	南 一 条 病 院	83	79
札 幌 厚 生 病 院	29	29	宮 の 森 記 念 病 院	32	36
札幌セントラルクリニック	25	25	山 木 医 院	3	3
札幌徳洲会病院	1	—	40 条 クリニック	10	8
札幌東クリニック	52	50	渡 井 医 院	48	42
札幌北楡病院	107	114	石 狩 病 院	15	16
札幌南青洲病院	4	2	H・N・メディック北広島	32	36
佐 藤 医 院	29	28	田 園 通 り さ わ ざ き 医 院	12	13
三 樹 会 病 院	27	22	は ま な す 外 科 医 院	10	10
J R 札 幌 鉄 道 病 院	12	11	恵 み 野 病 院	15	12
自衛隊札幌病院	5	5	恵 庭 クリニック	—	1
市 立 札 幌 病 院	14	13	個 人 会 員	23	30
仁愛会外科クリニック	26	22	賛 助 会 員	2	3
新札幌循環器病院	10	10	合 計	1,545	1,551

文書発言用紙

氏名		男・女	年齢	歳
住所	〒			
電話		病院名		

会員は文書で意見を述べる事ができます。活動方針に対し、ご意見のある方は、この用紙にご意見を書いて5月5日までにお送り下さい。

(送付先：〒001-0017札幌市北区北17条西2丁目21-617 サザンアベニュー北大301
札幌腎臓病患者友の会 宛 TEL707-6789)

意見書

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
平成15年4月10日発行(毎月10日発行)

冊・S・K通巻373号

発行所 北海道身体障害者団体定例
印刷所 北海道機関紙印刷所
発行物協会

キリトリ

(購読料は会費を含む)
頒価150円